

No. 801

5/21

全学集会開けず

—東大—

145F

5月19日、ドロ沼の東大紛争に解決の糸口を見いだそうと予定された久々の全学集会は中止になりました。この日、反日共系学生は集会の粉砕を主張、日共系学生とあいもかわらぬトラブルをくり返していました。大学紛争処理法案が政党・自民党で検討されているだけに東大当局の悩みも一段と深刻になってきました。

万博まで300日

—大阪—

115F

大阪・千里丘陵の万国博覧会場に響く建設のツチ音は日まじしに高まってゆきます。展望台は連日、見学者で賑わい、シンボルゾーンの大屋根をはじめ、会場では外内61のバビリオンが先を争い雄大な姿を見せはじめました。参加国も目標の70ヶ国を達成。史上最大の規模になることが確実視されています。

閉店セールに14万人

—東京—

166F

5月19日、経営不振で店じまいのデパートに買物客が列をなす——池袋のあるデパートでの話です。企業戦争に敗れたこのデパートは最後のサービスと「サヨナラ・セール」売場は押すな押すなの超満員。いつもこんなに入ってくればと店員もやり切れない表情です。

魔女健在

—日ソ対抗バレー—

179F

5月19日東京日本武道館で行われた日ソ対抗バレーボール大会2日目、メキシコオリンピック金メダルのソ連チーム女子を迎え、オリンピック以来不調で、今年の都市対抗戦でも3位の日立武蔵。日立はこの大会に立ち直りをかけただけあって、ファイト満々。一方、ソ連チームもオリンピック当時から主力を欠いているとはいえ、金メダルの貫録をずい所にのぞかせます。後半日立は忘れていた好プレーを各所で見せ、宿敵ソ連に快勝、堂々魔女健在ぶりを発揮しました。